



## 新年のご挨拶

群馬県シートメタル工業会 会長 **岩本 博**  
(株式会社 太田治工)

新年明けましておめでとうございます。

会員の皆様におかれましては、穏やかな新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

さて、昨年の経済情勢は景気の“踊り場”からゆっくり脱却して、回復基調にあると言われました。しかし私達を取り巻く環境は、原材料等の高騰により大変厳しい年でありました。

私達工業会を振り返り見ますと、昨年では人材の育成を主眼においた活動に對しまして、会員企業の皆様のご協力とご理解のもとに充実した一年でございました。

[SKILLの向上]技能検定試験に多数の方のご参加を頂き、現在までに1級技能士 6名、2級技能士 59名、合計65名の技能士が誕生されました。(平成11年～平成16年)

[WiLLの向上]アマダスクールによる新入社員研修・パワーアップ研修・リーダー研修等に参加頂き、好評を博しました。また会員企業の工場設備をお借りして、溶接ゼミ・タレットパンチ・ベンダー等のメンテナンスゼミに多数ご参加を頂き、実際に実技を目前に見て「よく理解できました!」との参加者の多くの声が寄せられました。

昨今では、2007年度からの「団塊の世代」の職場離脱と、少子化による労働力不足に対処するため、技術・技能

の伝承の必要性が強く叫ばれております。熟練工の持つ高度な技術・技能を若い世代に引き継ぐ事が不可欠と言われております。これからは、人づくりでの対応とIT時代に於ける人の持つノウハウをデジタル化しての対応という様に進んで行くものと思われれます。国の施策にも「物作り日本大賞」「若年者物作り競技会」がスタートしております。

工業会の皆様におかれましても、情報交換・技能教育・講演会・セミナーを通して工業会をご利用頂き、またホームページもリニューアルして皆様のお役に立つよう役員・事務局一同努力していく所存で御座います。

今年も環境の変化に柔軟に対応して明るい年になるよう、そして会員各社のご繁栄と皆様のご健勝を心よりご祈念申し上げます、新年のご挨拶とさせていただきます。



## 新年のご挨拶

株式会社アマダ 取締役相談役 **天田 満明**

謹んで新年のお祝辞を申し上げます。

また、平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。本年も業界の発展、振興に對しまして総力を上げて取り組んでまいりますので、変わらないご支援を賜りますようお願い申し上げます。

さて、昨年の我が国マクロ経済は、緩やかな回復基調が続き、更に今年も成長が持続するようです。実感は様々でしょうが、概ね安定した一年だったと思います。原油高騰や円高など心配された局面もありましたが、企業業績も好調で設備投

資も高水準を維持しました。年末には皆様のご結婚という国民的な慶事もありました。今年もこの良い経営環境の中で能取りができることを祈念したいと思います。

板金加工業界も、主要需要先である自動車、電気・電子機器業界の勢いを背景に、かなり仕事も忙しかったのではないかと思います。特に自動車、電機産業の集積地であります群馬県内は、工場設備の稼働率もご満足のいくものだったのではないのでしょうか。製造品の出荷額では全国10位と名だたる工業県、ものづくりの大変盛んな地域でございますが、永続的にしっかりした基盤を保つ

ことが重要です。この地は行政も一社一技術運動などものづくり産業の基盤強化に熱心に取組んでいます。貴工業会におかれましては産官学一体となった取組みの中心的な役割を担い、長期的な業界振興に貢献していただきたいと期待する次第でございます。

昨年弊社は、1978年にオープンした「本社展示場」を「実証加工センター」という機能、呼称に変更致しました。数年来ご提案してまいりました「デジタルなモノづくり」のシステムを実際に使って、お確かめいただく場へとシフトさせました。是非一度ご利用いただければ幸いです。

最後になりましたが、貴工業会及び会員企業皆様のますますのご発展をお祈り申し上げます。



# 平成17年度 事業軌跡



(平成17年4月1日～平成18年3月31日)

## 2005年

- 1月 板金加工通信講座第三期開講
- 1月 8日 技能検定前学科講習(伊勢崎文化会館)
- 1月26日 賀詞交歓会 第37回役員会

群馬シートメタル工業会賀詞交歓会



(ウエルシティ前橋)



- 2月 6日 技能検定 学科
- 2月15日 第38回役員会(群馬産業技術センター)
- 3月16日 第39回役員会(東毛産業技術センター)

## 平成17年度

- 4月22日 四県交流会(新潟 月岡)
- 5月18日 第40回役員会(伊勢崎職業訓練センター)
- 5月26日～29日 Advanced Stage(朝霧スクエア)
- 5月28日～29日 国内研修会(愛知)



- 6月 2日 第6回総会 第41回役員会
- (ウエルシティ前橋)



- 6月 3日～ 5日 リーダー研修(朝霧スクエア)
- 6月23日～26日 新入社員研修(朝霧スクエア)
- 8月25日 第42回役員会(古久家)
- 9月 9日～11日 パワーアップ研修(朝霧スクエア)
- 10月 7日～ 9日 リーダー研修(朝霧スクエア)
- 10月18日 第7回親睦ゴルフコンペ(赤城カントリー)



- 10月22日 メンテナンスゼミ(NCT、金型)
- (岡部工業)



- 11月 6日 技能検定前学科講習(伊勢崎文化会館)

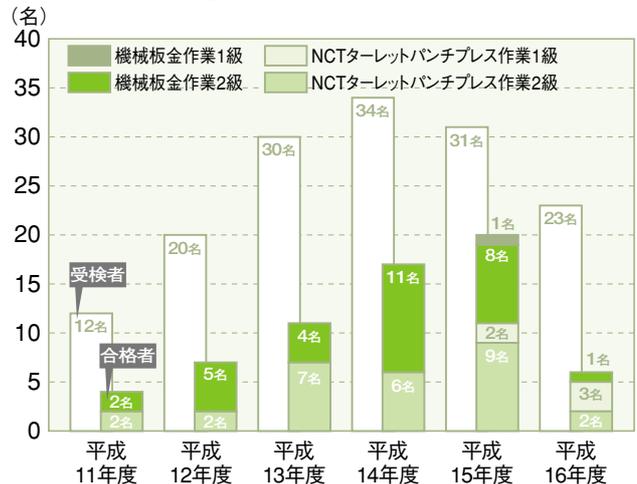


- 11月 8日 第43回役員会(東毛産業技術センター)
- 11月14日 技能検定前実技講習会(岡部工業)
- 11月19日 工業会役員代表者懇話会(フォーラム246)
- 12月 4日 技能検定前学科講習(伊勢崎文化会館)
- 12月 8日 第44回役員会(福一)
- 12月 9日～11日 パワーアップ研修(朝霧スクエア)

## 2006年(予定)

- 1月14日 技能検定前学科講習(伊勢崎文化会館)
  - 1月24日 賀詞交歓会 第45回役員会
- (ウエルシティ前橋)
- 1月 板金加工通信講座第一期開講
  - 2月 5日 技能検定学科
  - 3月 第46回役員会(太田地区)
  - 3月17日～19日 フォローアップ研修(朝霧スクエア)

## 技能検定合格者数



Congratulation

# 技能検定合格者

## 工業板金 機械板金作業



二級  
川口 悟  
(株)太田治工

私は(株)太田治工でベンダー加工を担当している川口と申します。技能検定試験について、一言申し上げます。

実技は1回の講習と、先生の「課題品を10個作ってみれば受かる」を信じて、素直に10個作りました。

私生活では3歳の娘の父親です。抱っこ、オムツ、一緒に遊んでの毎日、とても大変です。まして勉強どころではありませんでした。

そこで、残業と偽つては車の中で2時間程度勉強し、日曜日は図書館での勉強でした。試験の2週間ほど前から過去の出題を中心に集中的に行いました。その甲斐もあって、1回で2級に合格する事が出来ました。

入社して2年半ですが、以前にベンダー、NC、プレス、溶接等を経験した事も役立っていると思います。

課題作りに仕事の時間を提供してくださった上司の方々、職場のベンダー班の皆さんには本当に感謝しています。

これから受検される方は、普段の実力を十分に発揮出来れば合格も可能だと思います。ぜひ本番は「あがらず、慌てず、焦らず」頑張ってください。応援しています。

## 工業板金

### 数値制御ターレットパンチ プレス作業



一級  
須藤 雅彦  
(株)太田治工

9年前に太田治工に入社しNCに配属になり、タレパンの操作を二から覚えることになりました。その時勉強会があり技能検定という資格があることを知り、いつか挑戦してみたいと思っていました。そして月日がたち2級・1級と順調に取得することができ自分でも驚いています。

今後はこの資格を生かしてよき指導者になれるよう努力してまいります。

最後に受検に際してご協力いただきました工業会の皆様および会社の皆様へ感謝いたします。ありがとうございます。



一級  
柳田 茂  
(株)林製作所

### 仕事の内容

私はレーザプレスで製品を加工しております。抜いた製品を図面とてら

合せてチェックし、後工程へ速やかに送るのが現在の私の仕事です。昨年3月に新型レーザプレス(EMLZ3510)を使う事になりました。始めは大変だと考えておりましたが、窒素加工のすばらしさに目を見はるものがあり、今ではすばらしい機械と感じています。まだまだ未熟ですが一生懸命にやっております。

### 受検時の苦勞

入社した時は仕事を覚える事で夢中でやっておりましたが、だんだん慣れてきてから少しでも自分のものとなるように資格をと考えるようになりました。無学な私で仲々勉強も難しく大変苦労しましたが、6年もすぎてやっと自分なりの結果をうる事ができました。私にとっては大変で2級を取るのに3年、1級では3年と長い月日がかかりましたが、あきらめずに前に進んでいけば必ずむくわれるという事を実感し、自分なりに結果をだすことが出来ました事をうれしく思っています。

### 心構え

今後もこれを機に初心を忘れずによりよい製品作りに努力したいと思っております。又、若い人達にもどんどん挑戦して上を目指す人材が出てくれることを楽しみにしています。以上



一級  
仁科 譲司  
(株)アマダ

板金加工機械の販売やアフターサービスを職務として毎日お客様を訪問しております。

加工機械の進化や板金加工の多様

化に伴いお客様より求められるノウハウもより高度なものとなりスキルアップの必要性を強く感じていました。日常は行う事の少ない加工プログラムの作成など「知ってるつもり」を基本から学び直すには良い機会であり、ステップアップのきっかけになればと検定を受検する事にしたのですが、試験特有の緊張感で体が思う様に動かず迫る制限時間に気があせり、大きなミスをおこそうに

なったりと想像以上にドタバタとした内容となつてしまいました。しかしながら規定作業を無事に終了し、技能士の称号を得た事は大きな自信になりました。検定前講習会をはじめ群馬県シートメタル工業会の全面的なバックアップと関係各位の御支援に心より感謝申し上げます。



二級  
永田 悦子  
(株)太田治工

私が初めてNCの機械が動くのを見た時、「なんてすごい機械なんだ!世の中こんなすごい物があつたんだ!!」と喜びのような衝撃が走りまわりました。そして現在はEM2510という新しい機械を使い、スーパーショーケースの部材加工をしています。昨年初めて、技能士検定の受検という機会を与えられ幸運にも合格する事ができました。

大変だったのは初めて触つたAP100の使い方、覚える事と、NC以外の事(学科試験)の勉強でした。しかし合格通知を手にした時、達成感とともに指導してくださった方々への感謝の気持ちでいっぱいになりました。



二級  
室岡 淳一  
(株)林製作所

### NCTターレットパンチプレス

#### 技能検定の受検時の心構え

技能検定前の事前講習を受ける。講習の時に使用するパソコンの使い方、展開や割付けなどの条件やNCTターレットパンチプレスの仕様などを確認したりして重要だと思ふ所をメモしておく。学科講習では実際の試験の時に板金の内容以外のことも多数出題されるのでテキスト以外の物も参考にした方がよいと思います。

・実技試験で使用する機械を知っておく。試験で使用する機械を知ることによって使用したことのある機械であれば問題なく使えると思ひますが使用したことのない機械の場合は操作方法を確認して知っておくこと。

・過去の問題を参考に予習する。過去の問題を参考に予習する。過去の問題を参考に予習する。過去の問題を参考に予習する。

緊張することもあるかと思いますが焦らず落ち着いて頑張ることが大事です。

緊張することもあるかと思いますが焦らず落ち着いて頑張ることが大事です。

## 新任役員 ご挨拶



生産部会 副部長 **茂原 純一**  
(株式会社 モハラテクニカ)

株式会社モハラテクニカの茂原です。自社紹介と新任役員のご挨拶をさせていただきます。高崎インター付近で、多品種少量生産を生産管理システムより短納期に対応し、レーザー加工機、YAGレーザー溶接機をはじめとした最新の生産設備で、精密板金から、マシニングセンター、NCフライス等による機械加工までフレキシブルかつスピーディーに対応する体制を築いています。

品質保証では、2次元レーザー測定機、CNC 3次元画像測定機等にて検査を行い2000年にISO9001認証を取得しています。

2005年には環境に配慮し、省資源省エネルギーを推進し、ISO14001を取得させて頂きました。

1995年からの生産管理にて生産性を上げ、ISO9001により不良を減らし、ISO14001により無駄を無くす努力を日々行っておりますが、まだまだ若輩者であります。

今年度、生産部会副部長を仰せ付けりましたが、浅学非才の為、会員の皆様には多々ご迷惑をお掛けする事が有るかと思いますが、今後の役員会に出席させて頂き、勉強会、親睦会等に積極的に参加する事で一人でも多くの会員の方と情報交換をし、会社経営に役立てていきたいと思っておりますので宜しくお願い申し上げます。



経営部会 副部長 **臂 友幸**  
(株式会社 アッセンブリー・プラント・グローリー)

アッセンブリー・プラント・グローリーという、長い社名で、建設機械部品を造っている。何屋さんですか?と問われて、面倒なときは、ワコールさんの下請けです、と答えると受けがいい。最近では中国製に真似できない様に仕掛けて作るのが大変です、と付け加えると、板金屋さんとは話が合う。

日に日に陽が緩み、春になると、新入社員を迎えて、オリエンテーションが行われる。御存じのように、オリエンテーションとは「方向づけ」の意で、新しい環境に順応できる様にする教育指導だが、本来の意は、歴史の中に生きた自己が、現在の新しい環境に置かれた自らの位置を正しく認識することだそう。語源はオリエント、東方の意、太陽が昇り、知の源泉と信じられた方角。

株式会社ナガスマの長沼社長が亡くなった。46歳だった。新しい時代を見据える眼に若さがあった。彼のモーメントには正しいオリエンテーションがあったと信じる。天に平安を祈り、残されたご家族に慰めと、株式会社ナガスマの志の有る発展を祈る。

群馬シートメタル工業会の活動は、群馬県の産業界にあって、希有の存在である。皆志の有る方々である。私も会の内にあって、自社の位置を正しく認識して、来るべき「時のおとづれ」

に向けて、正しいオリエンテーションを行っていかねばと、考えている。

交わりを宜しくお願いします。



総務部会 副部長 **中島 幸彦**  
(中島鉄工株式会社)

弊社は、1969年創業以来36年間、板金プレス加工を行っております中島鉄工株式会社と申します。太田市の北東にあります東金井工業団地を生産拠点とし、旧工場であります新島工場を組立専用工場として約40名体制で組織しております。

製造業の役割とは一体なんなのでしょう? 私は、原油や食料や原材料等の資源の乏しい日本国を製造業の技術で得た外貨によって日本経済を引っ張っていると捉えております。また、国内の生産活動にしても他産業に与える影響は極めて大きく、その裾野は広く、日本経済発展の重要な位置づけとなっていると考えます。そんな考えのもと日々のひとつひとつの生産活動の積み重ねが社会貢献に繋がり、地域のため、日本国のため、延いては世界平和のためになるべく生産活動に邁進しております。

シートメタル工業会は、その構成メンバーが同業者ということもあり、パートナーシップつまりは、各企業間の横の繋がりを強くすれば大きなプロジェクト等を共同で行うことが可能となるでしょう。そんなきっかけを創ることが可能であり、未知の可能性を秘めている団体であると思います。また、お互いに切磋琢磨し合い、情報等を共有することで互いの成長に繋がるというメリットもあろうかと思います。

私は、亡き父に代わってシートメタル工業会に入会したばかりのため何もわかりませんが、今後とも諸先輩方のご指導、ご鞭撻をよろしく願ひいたします。



監査 **野沢 まき子**  
(大泉工業株式会社)

この度、会計監査役を拝命いたしました大泉工業の野沢です。全国にシートメタル工業会が21団体あり、そのうちの女性役員は私で二人目と伺っております。

今日、日本全体が高齢化、少子化がじわじわと進行し、私たちものつくりの分野でも、女性の労働力の大切さがより一層大きな問題になると考えます。

そのような状況になる前に、工業会の事業活動にも慣れない役割で戸惑いもありますが、女性でなければ考え付かない意見を提案することで、花を添えると言う役割だけでなく、群馬県シートメタル工業会がより発展されるための一助になればと考えておりますので、会員の皆様どうぞよろしくおねがい申し上げます。

## 役員紹介



副会長 島田 利春  
(島田工業 株式会社)

会員の皆様におかれましては、日頃よりシートメタル工業会の活動にご理解・ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。私ども島田工業株式会社は、1973年に伊勢崎市で創業し今年で33年を迎えることとなります。本社部門と板金プレス部門、空調機器組立部門の3つの部門で構成され従業員は約100名です。主な業務内容としては、業務用空調機器の開発・製造を中心に板金プレス加工、自動車部品の溶接、自社商品の開発などを行っています。

私どもは創業以来、終始一貫して「お客様の満足が私たちの喜びである」ことを経営理念として今日まで歩んでまいりました。それは21世紀を迎えても変わることない永遠のテーマです。

また、私たち島田工業は「信頼」と言う言葉の重要性を常に考えながら日々の生産活動を続けています。数十人の従業員がかかわって1つの商品が生まれます。各々の部署が常にほかの部署との信頼関係を確立していなければ島田工業で生産する部品や商品の信頼を得ることはできません。直接面識のないお客様が私どもの部品や商品に満足していただくことは、すなわち社員ひとりひとりが信頼を得ていることにつながると思っています。

私ども島田工業は、「信頼される人材、信頼される品質、信頼される企業」を仕事の原点として行動しお客様から信頼されるよう努力しております。

製造業にとって最も大切なことはアンテナ、それはニーズを的確にキャッチできるアンテナです。暮らした方も価値観も驚くほど早いスピードで変化していく今日、その変化にいかに対応できるかが、企業としての信頼度をあげることにつながります。私どもは、製造業としての既成概念にとらわれず、常に「顧客満足」という目標にむかって、そのテリトリーを拡大していきたいと考えています。それは決して派手な行動ではありません。常にニーズへの回答です。お客様のニーズ、そして満足があつての企業。島田工業は常にそうあるべきと思っています。

シートメタル工業会も年を重ねるごとに、より充実した活動を展開しています。また、その活動内容は県内外を問わず注目される団体として認知されるようになりました。今後は、さらに会員の皆様積極的に参加できるような活動内容とともに肩に力を入れずに本音で語りあえるような雰囲気づくりに微力ではありますが努力する所存です。協会会員企業の皆様の益々のご繁栄をご祈念申し上げますとともに協会に対しまして引き続きご支援・ご協力をお願い申し上げます。



生産部会 副部長 福島 寛  
(株式会社 協和工業)

#### 2006年の新春にあたって

あけましておめでとうございます。会員の皆様におかれましては2006年の新年を恙なくお過ごしのことと思います。

私の担当しております技能検定もやや半ばの日程まで消化しました。昨年度は学科試験で落ちてしまった方が多かったようですので、しっかり勉強していただきまして全員の合格を期待しております。

さて、昨年電機業界は勝ち組と負け組がはっきりと2極化し、当社としましても、大きく業績を後退させる状況となりました。一社依存体質からどうしても抜けられず、反省点の多い年でした。ことは一年生のつもりで営業に当たるつもりです。どうかよろしくお祈りいたします。何かとお困りのときはご一報いただければ幸いです。

当社はもともと配電盤からスタートいたしましたが、いまは徐々に板物関係にシフトし、NCT加工、曲加工およびアーク溶接を主としたフレームが主な得意分野です。ここへ来て、約8年使用してありました生産管理ソフトを更新し、いま完成の途にあります。自社開発のソフトですが、協和工業の生産に関するノウハウを結集するものとして開発中です。生産管理にかかわる人員は売上貢献上、稼ぎはゼロ円です。できるだけ少ない人員で切り盛りしなければ、製造の稼ぎをみんな無駄にしてしまいます。コストをキチンと把握し、無理のない生産を実現し、できる限りやすく他社に負けない製品を提供できるようがんばっております。以下当社のPRをいたします。

このようなお仕事でお困りの折は御一報をお願いいたします。当社スタッフが一丸となって解決に当たります。本年もよろしくおねがいいたします。

2006年元旦



経営部会 副部長 遠山 忠一  
(加藤鉄工 株式会社)

所在地 桐生市広沢1-2835  
従業員 105名  
仕事内容 住宅部材、高速道路料金徴集BOX、路線バス部材、電力部材金物  
※補足 業種は板金加工業で登記してあります。

創業時一般的に板金の板は木へんの板を使うのですが鉄を扱うのに木へんは変だし扱う板厚も薄い感じがすると言う事で板にしたら聞いております。

現在扱う品物も板金加工業では厚く、製缶加工業では薄い板厚の物、又、設備もシャーリング(13t×3000)、タレットパンチ(50T)、ベンダー(250t×4000mm)などを揃えており、工場認定(Rグレード)(鉄骨加工業)も取得。本業は何?といわれる様な多種多様な仕事をして現在に至っております。

今後は創業時からの流れ、考え方を考える事無く板金業には厚く、製缶業には薄い様な仕事(狭間)を流して行きたいと思っています。

今後はこの会(シートメタル工業会)を中心に情報の共有をはかり、一部が出来ない為に全体を断る様な事ではなく、何かを考えれば(一部を手伝って貰えば)この仕事が請けられるという様な会にして貰いたい。



総務部会 副部長 高木 賢治  
(株式会社 高木製作所)

明けましておめでとうございます。

皆様には輝かしい新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

弊社は昭和26年に創業し55年の歳月が流れました。世の中によくある話で「ケトバシ1台からは

じめた会社だ」と先代から言われ平成5年に会社を引き継いだ2代目社長です。現在では「ケトバシ」がレーザー加工機に変わり、事業内容も自動車部品からステンレスを中心とした食品機械部品に変わりました。「ものづくり」を続けて半世紀、この時間の中で好景気、不景気を経験し3K・5Kと言われた時代には雇用の問題に頭を悩め、工場移転や大型設備導入の時には心臓がドキドキしました。

「ものづくり」とは本来とても興味深く楽しい職種であると思います。しかし現実には、納期・品質・コストという高いハードルがあり、本来の楽しさが半減してしまうこともあります。

この現象を跳ね返すには、イギリスのブレア首相が言った通り、1に「教育」2に「教育」であり、我々的には1に「技術」2に「技術」です。とにかく「技術」を磨き上げることしかありません。

「ものづくり」と「勉強」はやればやるほど、上達すればするほど面白くなり、IT業界やサービス業界にはない性質をもっています。是非、多くの方に「ものづくり」を通じて日本を磨き上げてもらいたいと思います。

社員10名の小さな会社ですが、真田十勇士を目指し、小さくてもキラッと光るよう努力していきます。



会計 中沢 志光  
(株式会社 中沢工業所)

いつもお世話になります。シートメタル工業会で会計を仰せつかっている株式会社中沢工業所の中沢と申します。どうぞ宜しくお願いいたします。

私どもの会社は、高崎金属工業団地内(高崎市倉賀野町)にあり、自動車部品、医療機器部品、OA部品、生活用部品などの業界で、プレス板金加工を中心としたプレス加工、板金加工、ユニット組立の量産品と試作品および金型設計製作などを通じ地域や地球の環境保全を行い、環境負荷を低減する、お客様に喜ばれる企業活動を行っております。

お客様の主要ニーズである高品質・短納期・低コストに因るため、金型設計・製作から試作、量産までの一貫生産を可能とする自動化設備を導入すると共に、それらの設備を有効に活用するCAD/CAM設計・加工技術、VA/VE等のコストダウン技術、生産管理力を強化。また、製品開発・試作段階でのVA、VE提案を含めたコストダウンの推進、及び技術者がお客様と直接コンタクトし、迅速な共同開発を推進する体制の強化などを進めておりますが、今おかれている環境はとて厳しく、ついていくのが精一杯のところですが、シートメタル工業会において、色々な情報交換を得、会社経営に役立てたいと考えておりますので、どうかこれからも宜しくお願ひ致します。

# 社員の皆様のスキルアップに 板金加工の通信講座はどーですか？

## 板金加工通信講座

板金加工の幅広い知識を会社やご自宅で習得できる講座です。受講期間は3年間。3冊のテキストを使用し1年1冊の割合で学習

テキスト 精密板金加工の手引き（上巻、中巻、下巻）  
習得度を自己評価するため2ヶ月に一度テストを実施します。

採点および問題の解説書とともにご返却いたしますので知識を再度確認出来るため自然に身に付きます。受講はいつでもスタート可能（講座は進行中ですのでテキストの変わり目がベストです）。  
受講料 年単位 9,600円/1年

### \* 1年度予定表

回数	テキスト問題配布・提出月	科目	テキスト
第1回	1月～2月	製図Ⅰ	上巻 第2章
第2回	3月～4月	製図Ⅱ	上巻 第2章
第3回	5月～6月	板金材料	上巻 第3章
第4回	7月～8月	材料力学	上巻 第4章
第5回	9月～10月	機械工作Ⅰ	上巻 第5章
第6回	11月～12月	機械工作Ⅱ	上巻 第5章

### \* 2年度予定表

回数	テキスト問題配布・提出月	科目	テキスト
第7回	1月～2月	機械と付属装置	中巻 第6章
第8回	3月～4月	金型	中巻 第7章
第9回	5月～6月	剪断加工	中巻 第8章
第10回	7月～8月	曲げ加工	中巻 第9章
第11回	9月～10月	曲げ加工金型	中巻 第9章
第12回	11月～12月	打ち出し及び絞り加工	中巻 第10章

### \* 3年度予定表

回数	テキスト問題配布・提出月	科目	テキスト
第13回	1月～2月	NCTプログラムとNC	下巻 第11章
第14回	3月～4月	展開と板取り	下巻 第12章
第15回	5月～6月	板金の接合・ガス切断	下巻 第13章～15章
第16回	7月～8月	電機・電子	下巻 第16章
第17回	9月～10月	品質管理・見積り計算	下巻 第17章～18章
第18回	11月～12月	安全衛生	下巻 第19章

会社の皆さんでトライしてみませんか！！

お申し込み、お問い合わせは 事務局までご連絡ください。



### 編集後記

昨年を象徴する漢字は「愛」という報道を目にしました。しかしある新聞の社説には、昨年を象徴する漢字は「崩」ではないかと書かれていました。確かに昨年を振り返ってみますと、年明けから新潟中越地震の余波が覚めやらぬうちに、スマトラ沖地震津波の被害の拡大ニュース、そしてJR福知山線尼崎脱線事故、そして年末近くになって『耐震強度偽装事件』とその新聞の社説どおり「崩」という漢字が最も昨年を象徴していると思われます。家庭内においても、子供が親に毒を盛ったり、親が子供を殺害したり、勿論逆も

ありと、まったくこの非道徳を超えた有様は、正に日本秩序「崩壊」一步手前といった観にあります。

こうした世の中になりますと予言師とか占い師とかいった輩が、多に重宝がられる風潮となります。テレビでは細木数子さんが引っぱりだこです。彼女の元夫は陽明学者の安岡正篤先生でした。話はガラッと変わりますが、陽明学の中に『知行果の一致』という言葉があります。実は今私がかもっとも好きな言葉であり、大事にしている教えであります。文学数の関係で続きの話は次号とさせて下さい。失礼しました。 岡部浩章